

# 住まいの省エネと 健康・快適性を考える シンポジウム in 福岡

日時 2016年2月19日(金) 13:10～17:00 (開場12:30)

会場 電気ビル共創館カンファレンス 3階 A会議室

参加費

無料

(定員:150名)

わが国は、電力供給能力の低減や地球温暖化対策の推進などのために、今や国をあげて省エネルギーを実践しなければならない状況になっています。住宅分野においても実効性のある省エネ対策が要請されており、2020年度には新築住宅の省エネ基準が義務化され、省エネ基準に適合しない住宅（つまり断熱性能などが不十分な住宅）は原則、建築許可が下りなくなります。また、ゼロエネルギー住宅のような先進的な住宅も着々と建設されています。

しかし、その一方で、既存住宅の4割は全く断熱されていないとも言われています。このような無断熱の建物は、冬には暖房をしていない浴室や便所が低温になり、いわゆるヒートショックのリスクが高まるほか、近年の調査研究の結果では、一般的に低い室温によって居住者（特に高齢者）の血圧が上昇し、それが様々な健康障害の引き金になると懸念されています。こうした室内の低温が原因と推測される死亡事故は、我が国では実は年間1万人を超えるとも言われており、交通事故による死者をはるかに上回っている事態になっています。ですから、住宅の断熱化・省エネ化は、新築住宅に対しては省エネ基準の義務化によって浸透させることができますが、既存住宅に対しては、省エネに加えて、居住者の健康増進や医療費の削減ということも強調して進めていくことが重要であると考えられます。

本シンポジウムは、こうした国民的な課題について各界のオピニオンリーダーによる報告と議論を受けて、シンポジウムの参加者に住宅の在り方を再考してもらい、住宅の断熱化・省エネ化を一層推進していこうというものです。

## プログラム

- 13:10～13:30 **趣旨説明**  
坂本 雄三 (国立研究開発法人 建築研究所 理事長)
- 13:30～14:15 **講演 1 「開口部の熱性能と省エネ・快適性」**  
尾崎 明仁 (国立大学法人 九州大学 大学院 人間環境学研究院 都市・建築学部門 教授)
- 14:15～15:00 **講演 2 「血管が硬くなるはなし ー住宅との関係についてー」**  
江里 健輔 (公立大学法人 山口県立大学 学長・理事長／  
山口県立総合医療センター 院長)
- 15:00～15:10 <休憩>
- 15:10～16:40 **パネルディスカッション**  
テーマ:省エネ・健康・快適な住宅の普及方法 (新築・リフォーム)  
コーディネーター:坂本 雄三  
パネラー:尾崎 明仁  
江里 健輔  
畑中 直 (健康住宅株式会社 代表)  
熊木 美樹 (通商株式会社 営業推進部長)  
小山 貴史 (エコワークス株式会社 代表)
- 16:40～16:50 **まとめ** 坂本 雄三
- 16:50～17:00 **閉会挨拶** 中澤 俊夫 (樹脂サッシ工業会 会長)

主催:樹脂サッシ工業会

協賛:塩ビ工業・環境協会

後援:(一社)日本サッシ協会、板硝子協会、断熱建材協議会

## 会場のご案内



## 交通のご案内

【バス】 JR博多駅バス停A番より乗車→渡辺通1丁目降車すぐ  
天神大丸前バス停4より乗車→渡辺通1丁目降車すぐ

【タクシー】 ・天神より5分 ・JR博多駅より7分 ・福岡空港より25分

【電車】 西鉄薬院駅より徒歩7分

【地下鉄】 七隈線 渡辺通駅（電気ビル本館 B2Fへ直結）

## 参加申込締切り

- 定員（150名）になり次第、締切らせていただきますので、お早めにお申込下さい。
- お申込みは、下記ご記入の上、FAXにてお申込みください。  
受付番号を返信いたしますので、当日ご持参下さい。
- 問合せ先 TEL：03-3597-5125（樹脂サッシ工業会 大木／坂井）

## 参加申込

住まいの省エネと健康・快適性を  
考えるシンポジウム IN 福岡  
(2016年2月19日(金)開催)

**FAX 03-3597-5140**

フリガナ			
ご芳名			
会社名		ご所属・お役職	
電話番号		FAX番号	
E-mail		受付番号 (事務局記入)	